

昭和医科大学大学院保健医療学研究科
博士後期課程
令和 8 年度春季
入学試験問題
【専門科目】

設問 1.

近年、AI 技術を用いた輪郭描出、放射線治療計画機能等が臨床使用されはじめ、効率的かつ計画者に依存しない治療計画を作成が可能となってきた。

- (1) 上記において、AI 技術の活用における利点と課題点を示しなさい。
- (2) AI 技術の臨床導入に向けたコミッショニング課程を具体的に説明せよ。

設問 2.

放射線治療を構成する要素は、それぞれが密接に関連して“chain of radiation therapy”を形成する。いずれか1つでも不適切な状態で臨床運用が行われると、各要素の連携が崩れ、放射線治療の破綻につながる。以下に示す、要素の連携による chain of radiation therapy において、空欄部分①～⑤を埋め、その概要を説明せよ。

